ぽかぽかセミナー⑨　in 伊達市

やさしく学ぼう！健康問題
&避難・保養の相談会

放射能による健康被害を未然に防ぐために、何が必要なのか、低線量被ばくや内部被ばくについて、その危険性をきちんと認識することが重要です。
村田三郎医師は、原爆被曝者の医療・労働者被曝・低線量被ばくの問題に長く関わってこられました。
お話では内部被ばくの危険性や現在の甲状腺検査の結果をどうみるか、健診の重要性についてお話しいただく予定です。
また、避難の受け入れに尽力されている「311受入全国協議会」の早尾貴紀さんのお話しもうかがいます。
ぜひご参加ください。

日時：2013年４月２０日（土）
場所：伊達市保原中央公民館（保原町字宮下111－4）

＜スケジュール＞

13:30～15:00：避難・保養相談コーナー
　避難・保養受け入れを行っている団体が出展予定です。相談、受け付けます！

15:00～17:00：ぽかぽかセミナー
「やさしく学ぼう！健康問題」
　村田三郎／阪南中央病院副院長
「避難受け入れの取り組み」
　早尾貴紀／311受入全国協議会
「週末保養を～ぽかぽかプロジェクト」

17:00～18:00：懇談会、避難・保養相談コーナー

入場無料／申込み不要（当日、会場にお越しください）
主催：福島ぽかぽかプロジェクト
協力：どうする福島、311受入全国協議会
問い合わせ先：090-6142-1807（FoE Japan 満田）

村田三郎医師プロフィール
阪南中央病院　副院長
広島・長崎の原爆被爆者の健康診断や診療、実態調査をおこなってきた。原発の労働者被ばく問題に長年関わり，被ばく労働に関する労災認定に尽力してきた。低線量の被ばくによる放射線障害、内部被ばくの危険性に警鐘を鳴らし続けている.
「原発震災・ニューズリール（藤本幸久監督）」No.3・No.4に出演

□福島ぽかぽかプロジェクトとは？

「除染がはじまって効果があがるまで、せめて子どもたちを一時避難させて」こんな切実な声にこたえて、2012年1月から開始した「福島ぽかぽかプロジェクト」は、全国の皆さんからのご寄付のおかげで、福島市、伊達市、伊達郡の親子や妊婦さんに線量の低い土湯峠温泉、での短期保養を提供しました。現在、猪苗代で「シェアハウス週末ステイ」の募集を行っています。

□事務所　〒162-0825　東京都新宿区神楽坂2-19　銀鈴会館405号　AIR気付
Tel:080-6008-0808　Fax:03-5225-7214　E-mail: pokapoka.watari@gmail.com